

# 新潟支部会報



一般社団法人 大学女性協会新潟支部

2025 年 8 月 No.15

## 目次

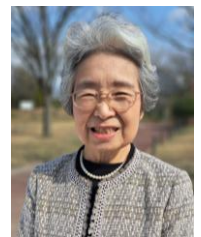
新年度ごあいさつ ……………	1 頁	2025 年度支部総会報告 ……	11 頁
全国総会新潟開催報告 ……	1～10 頁	お知らせ ……………	12 頁

## 新年度ごあいさつ

支部長 五十嵐 由利子

4月の支部総会で支部長に選任されました。この3月までの4年間、監事を務め、支部奨学賞などの支部事業に少しでも関わってきましたが、支部活動の全容をまだ把握しないまま、5月の新潟での全国総会を迎えました。大淵智絵実行委員長を中心に事前準備が進められ、支部会員皆さまの協力で無事終了できましたこと改めて皆様ご感謝申し上げます。

今年度は、10月開催予定の全国セミナー「ウェルビーイングと環境～くらしの視点から～」の中で、新潟支部が「コメ問題」についての発表を担当するほか、例年のように支部奨学賞の募集などの支部活動を進めてまいりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



## JAUW 全国総会 新潟開催 報告

### 一般社団法人大学女性協会 2025 年度全国総会・第 14 回定時会員総会

(会場 万代シルバーホテル)

日	行事 (◆は公式行事、◇は追加行事)
5/17(土)	◆支部長会 ◆エクスカージョン「新潟市會津八一記念館」「いがた文化の記憶館」見学 ◇支部長有志の夕食会 「港料理 魚や片桐寅吉にて」
5/18(日)	◆第 14 回定時会員総会 ◆臨時理事会 ◆公開講演会「ゆかりの地・新潟で ドナルド・キーン先生を想う」 司会 高橋令子 会員 講師:南加乃子 氏、ブルボン吉田記念財団評議員 BSN 新潟放送「ドナルド・キーン95歳心の旅」プロデューサー ◆本部主催全国総会シンポジウム「移行法人終了後に向けて」 ◆収益委員会バザー ◇展示ブース NVC 新潟国際ボランティアセンター パネル展示「新潟支部国際奨学賞について」、フェアトレード品販売 ◆懇親会 司会 西村智奈美 会員 アトラクション 民謡と踊り「佐渡島の金山 世界遺産登録を記念して」出演 こはく会 ◇ナイトツアー「新潟・市民映画館シネ・ウインド 映写室見学」
5/19(月)	◆研修バス旅行「新潟発日本製～ 継承と新たな価値づくりをつなぐ旅」 訪問先 そら野テラス(越後姫の試食、ショッピング)、三条市立大学(シャハリアル理事長・学長の講演、見学)、燕三条 Bit(昼食)、燕三条地場産センター(ショッピング、見学)、玉川堂(工場見学、解説)

## 写真で振り返る全国総会



5/17いよいよ会場入り。準備が始まります！



大沢実行委員長と秋光副会長。運営は支部を超えて。



全国から事務局へたくさんの差入れをありがとうございました。



最初の行事、支部長会の受付は笑顔でスタンバイOK 田代信子さん吉谷美知子さん、よろしくお願ひします。

### 事務局

5/18朝  
定時会員総会受付を前に

### 定時 会員総会



三上杏里さんはマイク係で会場を駆け回りました。MAC 山本さんが映る貴重なショットです。



大切な受付は総力を挙げて手際よく。



支部長会後の夕食会は支部アンケートで好評の「港料理・魚や片桐寅吉」へ。



會津八一記念館は開館50周年。秋仲会様より記念の会報をいただきました。



阿部美知子さんはこの日たびたび受付を担当。井上里恵子さんは大会の「食」をご手配くださいました。

### 特設 ブース



奨学事業パートナー新潟国際ボランティアセンターのブース出展。支部国際奨学賞パネル展示とフェアトレード販売で賑やかに。大学生ボランティア3名がブース運営でご協力。

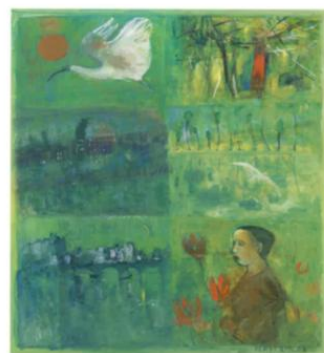
本部収益事業委員会の恒例バザーでは全国からの寄付など様々な品が並びました。



格調高い会場ではホテルのサービスも行き届き、快適に、滞りなく会議が進められました。



可愛い昼食お弁当も好評。



新潟開催イメージピクチャー「想へ大地」

新潟の多様な風景と、博愛の花チューリップを背景にした女性の姿が印象的です。新潟支部会員の北村美江さんより、ご自身が描いた油絵の中から使用許可をいただきました。記念品(紙製クリアホルダー)、パンフレット、封筒などに使用し、大会を彩りました。



昼食会場も楽しい懇親の場となりました。

### ブレイク タイム



小野美知子さん推薦「よし仙」餅団子を取りよせ。



コーヒーブレイクで一息。登坂さん仲川さんは大会の会計担当。この日は事務局室を守りました。

### 講演会



講演会講師の南可乃子さんと、担当の五十嵐さん、高橋さん(右から)



講演会には一般参加も多数で会場は満員。講師の南さんは映像と年表資料を特別制作して臨んでくださいました。



資料作成や司会など大活躍の高橋令子さん。

(一社) 大学女性協会全国総会 新潟大会  
公開講演会  
「ゆかりの地 新潟で Donald・キーン先生を想う」


日時: 2025年5月18日(日) 13:15~14:30  
会場: 万代シルバーホテル 万代の閣  
新潟市中央区万代1-3-30

司会: 高橋令子  
(新潟支部会員)

講師: 南 加乃子さん

BSN 新潟放送局で長年ディレクター、記者、プロデューサーとして働き、現在はフランスの構成作家兼番組プロデューサー。  
ブルボン倉田記念財団理事  
制作番組: 「Sado Golden Road」-世界を巡った佐渡小判(2013)  
「トキ 新世界を生きる」2015 科学放送展展覧・優秀賞  
「Donald・キーン95歳の旅」2017  
「追悼 Donald・キーン先生」2019 他

講演のご感想などをお寄せいただきたく、アンケートにご協力ください。  
右のQRコードからお願いします。



資料の無断転載はご遠慮ください。

講演会配付資料の表紙

懇親会



司会は西村智奈美さん



五十嵐支部長の歓迎のことば



懇親会の冒頭 こはく会様の見事な民謡、民舞

一般社団法人大学女性協会  
2025年度全国総会懇親会

MENU

春の和野菜盛り込み  
鮭酒蒸し 小松菜 豚巻 海老 一口寿司 そら豆  
佐渡産板鯊 サラダ仕立て  
海の幸のバイ包み焼き サフラン風味  
国産牛のグリル 春野菜のテリースを添えて  
鯛飯 香の物  
越後産と完熟トマトのガスパチョ  
濃厚なバニラアイスとともに  
コーヒー

フリードリンク  
ビール・日本酒・ワイン・ウイスキー・焼酎  
ハイボール・レモンサワー・カシス・ピーチ・梅酒  
ノンアルコールビール  
ウーロン茶・オレンジジュース  
コーラ・ジンジャーエール

2025.5.18 BANDAI SEVER HOTEL

万代シルバーホテルによる  
美しい特製料理の数々



新潟支部紹介は  
鈴木副支部長より



佐渡おけさの大総踊り!



シネ・ウインド  
ナイトツアー

井上経久支配人のお話  
耳を傾け、目を輝かせ。



ご参加のみなさまよりシネ・ウインド様へ活動募金をありがとうございました。



映写室見学



映写室から見る客席は  
普段は見られない景色です。

研修バス旅行



越後産は  
「女のいちごと」PR



きんぴらだんごはくず米  
を無駄にしない知恵であり、  
厳しい農作業のエネルギー  
食でもありました。



そら野テラス広報の真柄さん。カフェから見渡せる美しいトネリコの「はぎ木」。  
「はぎ木」は、元は「潟」だった新潟平野独特の稲わら干しだとか。



間近で見る鉋起の技術は迫力  
があり歓声が挙がりました。



三条市立大の大講堂の窓からは弥彦山を臨む絶景が。



玉川堂燕本店は築100年の工場(こうば)



三条市立大学シャリアリアル理事長・学長より大学カリキュラムの講演。学舎の緩やかな斜面は、和釘をモチーフにしたデザインのみならず積雪にも対応。内装のめもり模様は学生が尺度を体得するための工夫だそうです。



1 枚の銅板が叩かれ、  
注ぎ口つきの急須こ。



玉川堂番頭の山田さんからは燕三条のものづくりのお話。

## 実行委員会 ▶実行委員長/大淵智絵

- ▶参加申し込み事務・会計/登坂美江子、仲川幸子 ▶会場/井上理恵子(飲食)、五十嵐由利子、高橋令子(講演会、懇親会)
- ▶研修旅行/鈴木裕美、田代信子 ▶印刷物/三上杏里、宮本真菜、吉谷美知子 ▶エクスカッション/田代信子
- ▶受付/鈴木裕美(リーダー)、阿部美知子、吉谷美知子 ▶会場マイク運び、NVC ブース/三上杏里
- ▶定時会員総会記録補佐/鈴木裕美 ▶司会/高橋令子(講演会)、西村智奈美(懇親会)

役員、部会長、監事を中心に、2023 年春頃から準備を始めました。一部流動的ではありましたがこのような役割分担で準備と運営を行いました。旅行代理店 MAC 社山本政己さんには準備、申し込み受付、当日運営、旅行添乗と多岐にわたりご協力いただきました。

## 「挨拶のこぼれ」でふりかえる



### ◆ 五十嵐由利子 支部長より (5 月 18 日 懇親会 歓迎のこぼれ)

こんばんは。木々の緑がさわやかなこの季節、新潟での全国総会に大変多くの会員の皆様からご参加いただきましてありがとうございます。新潟支部を代表して歓迎のご挨拶をさせていただきます支部長なりたての五十嵐由利子でございます。今日一日、大変お疲れさまでした。皆様をお迎えるに当たり、前支部長であり、実行委員長の大淵会員を中心に支部会員、知恵を出し合い準備を進めて参りました。大学女性協会の「すべての女性が輝く明日のために」を大きな目標に、昨日の支部長会、そして本日の定時会員総会、全国総会が滞りなく進めるよう会場の準備は当然のことですが、遠路、新潟においていただく会員の皆様、新潟での充実した、そして楽しい思い出を作っていただきたく、先ほどのドナルド・キーン先生についての講演を南加乃子様をお願いし、明日の研修旅行の計画、さらに新潟の様々なお楽しみ情報を支部会員から募り、3 月発行の新潟支部会報に掲載し、皆様をお待ちしておりました。この間、本部の担当役員の皆さまと昨年度の開催地・愛知支部の皆様からは貴重なご助言を賜りました。そして、会場となりました万代シルバーホテル様はじめ市内の多くの皆さまからも多大なご協力いただきました。また、支部会員が少ない状況から旅行代理店の山本様の御協力で準備を進めることができました。以上の皆様、深く感謝申し上げます。

準備をしておりました3月末に、守田科学研究奨励賞を新潟大学助教の小山翔子先生が受賞されたとの知らせを受けました。これまで新潟大学をはじめとした県内の大学生に毎年支部奨学賞を贈っておりますが、大学女性協会の果たす役割を改めて認識し、感謝し、準備に大きな励みとなりました。

さて、新潟と言えば、お米、日本酒、魚を連想される方が多いと思いますが、野菜もおいしいものが沢山あります。今日の懇親会では、後ほど和食の刑部陣理長から説明がありますが、地元の食材を使ったお料理と新潟のお酒で楽しんでいただきたくご用意いたしました。日本酒は県内に 89 の酒蔵があり、たくさんの銘柄の日本酒が作られていますが、ワインについてもご紹介させていただきます。日本のワインブドウの父と言われている川上善兵衛が拓いた岩野原葡萄園が新潟県上越市にあります。県内にはワイナリーが 9 つあり、そのうち 5 つが新潟市内にあります。今日は、岩野原葡萄園が「100 年以上の歳月を重ねて生み出された品格がある」と言っております「深雪花」の赤ワインを 2 本だけですが、ご用意させていただきます。

そして最後のご紹介が、昨年、世界遺産に登録されました佐渡の金山です。佐渡では、金山とともに佐渡特有の様々な文化・芸術が発展し、今に至っています。そこで、佐渡の世界遺産登録を記念して、これから佐渡の民謡を楽しんでいただきます。その後は、新潟の食材を使ったお料理と懇談で一日のお疲れをいやしていただけたら幸いです。

簡単ですが、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

### ◆ 大淵智絵 実行委員長より (5 月 18 日 会議と講演会終了にあたり)

新潟支部の実行委員長を務めました、大淵智絵です。今日は朝早くからの会議、講演会、本部行事のシンポジウム。夕方まで複数の行事がありました。お疲れさまでした。昨日、今日、全国各地から到着されたみなさまの顔を拝見してとても嬉しく思いました。

新潟での開催を、当時の岩村会長に申し出てから 2 年が経ちました。この準備を支部の活動ととらえ、支部会員の全員が関わるのが支部の立場での目標になりました。途中、能登半島地震が発生し、被災した会員もいたことは一つの心配事になりましたが、支部の会員がアイデアと経験を持ち寄って計画準備いたしました。会議の成功に加え、みなさんが滞在を楽しく安心して過ごしていただけるものになることを願っています。さまざまな事情で活動に足を運べない支部会員も多くいますが、それぞれの形で、全国からの会員をお迎える準備に関わりました。ご自作の絵のご使用を提供くださったかた、遠方から文書作りをしてくださったかた、支部会報のアンケートに答えてくださったかた、寄付をくださったかた。支部会員が力をあわせて準備いたしました。

本部からは秋光副会長、牧島総務理事が窓口となり、お忙しい中でも親身にご助言をいただきました。昨年開催の愛知支部さんは

Zoom 会議で相談に乗って下さいました。各地の支部からも励ましやご協力を頂き、これが大学女性協会全国ネットワークのパワーと温かさ、と実感し、勉強になりました。本当にありがとうございました。

新潟での開催に向けて、講演を引き受けてくださった南加乃子様、代理店MAC様、奨学事業のパートナー新潟国際ボランティアセンター様、会場の万代シルバーホテル様、見学を受けてくださった先々、会員とかかわりを持つ新潟の方々の力を借りて、会員のほかにも多くのかたが歓迎の準備に加わって下さいましたこともご報告いたします。

この挨拶はさしずめ中締めといったところで、この後も懇親会、研修バス旅行と明日まで行事がごございます。明日の終わりまで有意義な大会にできるよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ◆ 鈴木裕美 副支部長より (5月18日懇親会 支部紹介)

皆様、この度は新潟へのお出ましをありがとうございます。新潟支部の紹介をいたします、副支部長の鈴木裕美でございます。恐れ入りますが新潟支部の方はその場でご起立ください。賛助会員の佐藤拓一先生もお願いいたします。

私も新潟支部は、これまで自己紹介くださった多くの支部同様、総会にご参加お出来にならなかった年配の会員も増えておられます。が、長年のご経験を活かしこの度も見守っていただきました。今回の総会を迎えますにあたってもそれぞれがでます力を発揮され、その得意分野を生かして支部活動を支え、また賛助会員であられる新潟大学の佐藤拓一先生のご紹介を中心に若い研究者や留学生も会員として増えていってくださり、力づけていただいております。ともかくお互いが相互のお力に敬意を表し、仲の良いことが特徴だと思っております。

今回発案から細かな手配、連絡役に邁進くださった中堅世代の大淵実行委員長、俗いいうガラスの天井にもし突き当たっても乗り越えていただくべくかじ取りに手を挙げていただいた五十嵐新支部長を中心に、皆一丸となり、女性の牽引役を育て応援すべく無理なくすすんで行こうとしております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



賛助会員の佐藤拓一さん、講演会講師の南加乃子さんと記念撮影

ご寄付  
山田修様(会津八一顕彰会「秋草会」事務局長)  
／会報誌を見学参加者へ  
井上経久様(新潟・市民映画館シネ・ウインド支配人)  
／館内見学、会報誌「月刊ウインド」を見学参加者へ  
岩村道子様(前会長)／寄付金  
佐藤恵美子様(新潟支部会員)／寄付金  
高橋令子様(新潟支部会員)  
／萬代橋ポストカードを参加者全員へのおみやげに  
五十嵐由利子様(新潟支部会員)／ワイン  
全国の会員様／事務局へお菓子の差入れ  
ご厚志に御礼申し上げます

## 実施報告(JAUW 会報への寄稿より)



### 全国総会「ようこそ新潟へ」開催報告

新潟支部長 五十嵐由利子

16年ぶりの新潟での全国総会に全国から多くの会員の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。大淵智絵実行委員長(前支部長)を中心に全員参加で準備を進め、皆様をお迎えました。運営にあたり、旅行代理店の協力を得ること、これまでの日程とは違い、懇親会を二日目の総会終了後にすることなど、全体の企画・運営について、本部の役員の方と前開催地の愛知支部の皆様からのご助言、ご指導を賜り、そして新潟の多くの方からのご協力で開催でき、心より感謝申し上げます。

初めての新潟、久しぶりの新潟という会員の皆様、新潟のことをたくさん知っていただきたい、楽しんでいただきたいという思いで、エクスカーション、公開講演会、懇親会、研修旅行を計画しました。

1日目の支部長会後のエクスカーションでは、徒歩5分のところにある「会津八一記念館」見学に40名の方に参加いただきました。八一の歌、書についての解説を熱心に聴いてくださっている会員の皆様の姿に感銘いたしました。

2 日目は、定時会員総会、公開講演会、全国総会、そして懇親会と盛りだくさんでした。公開講演会については別途報告をお読みください。懇親会では、冒頭、佐渡島の世界遺産登録を記念して佐渡の民謡を楽しんでいただきました。最後の佐渡おけさを全員参加で、うまく踊れないながらも盛り上がり、朝からの会議でお疲れではないかとの懸念は裏切られました。その熱気が残る中、乾杯となり新潟の食材を使った料理を楽しんでいただき、そして支部紹介が始まりました。各支部の熱い思いの紹介はやや時間オーバーでしたが、会員同士の交流が盛んにおこなわれた懇親会でした。懇親会のあと、事前の告知にはなかったホテル近くの小さな映画館の映写室見学に 16 名の方が参加され、皆さまのパワーに圧倒されました。

3 日目のバス研修旅行についても、別途報告をお読みください。

全日程を終えて、多くの支部の皆様と親しく交流でき、多くの情報もいただき、新潟支部の財産になりました。2026 年は JAUW が 80 周年を迎え、東京での開催が予定されています。皆さまとの再会を楽しみにしております。

### 研修旅行「新潟発日本製 継承と新たな価値づくりをつなぐ旅」報告

新潟支部 田代信子

この度の研修旅行は新潟の「ものづくり」をテーマに新潟市の農家レストラン「そら野テラス」、三条市立大学、燕市の無形文化財鉮起銅器玉川堂の工場(こうば)見学を計画し、40 名の御参加を頂きました。そら野テラスは、作る、加工、販売を農家が全て行う農業法人です。朝採りのいちご「越後姫」と新潟のお米で作られた米粉団子を田園の中で試食し、マルシェでの買い物も楽しい時間となりました。次の訪問先の三条市立大学は、地元企業と連携して学際的な研究と技術習得により、4 年後に社会で活躍できる人材育成を目標とする工学系単科大学です。理念をアハメド シャハリアル理事長・学長より熱く語って頂きました。質問もたくさんあり、学長は奨学金を受けた時の学びと交流が社会への還元の源であると話していらっしゃいました。「ものづくり」のルーツの和釘の形の建物は目を引くもので、施設も含め学長自ら携わったそうです。

昼食は燕三条地場センター内の人気レストラン Bit で新潟の食を楽しみました。このレストランは地元食材を十分に使い、内装や食器も地元で製造されたものを使用しています。メインテーブルの上の斬新なシャンデリアは爪切りの杵取りを組み合わせたもので、当日のお魚料理のカトラリーはノーベル賞授賞式の晩餐会と同じものでした。午後は 2 班に分かれて、隣の物産館でデザイン性の高い台所用品、カトラリー、良く切れる爪切りなどを品定めしながら買い物を楽しみ、最後は 200 年にわたり伝統技術を継承している鉮起銅器玉川堂に行きました。築 100 年の工場(こうば)で一枚の銅板からやかんになる工程を鉮で叩く音を聞きながら直で見ることが出来ました。見学の後は人間国宝玉川宣夫氏の壺が飾られている居間で洋梨レ・レクチュのコンポートをいただきながら、番頭山田立さんより鉮起銅器の歴史や運営についてお聞きしました。現在の職人さんの半数が女性で平均年齢は 33 歳とのこと。若い女性の感性による伝統技術の継承に明るい未来が感じられました。帰りのバスの車窓から新潟平野の早苗の緑が美しく目に映りお天気にも恵まれて良かったと思います。来年の東京での再会を願いながら名残惜しいお別れでしたが、皆様の笑顔が何よりもうれしい一日となりました。御参加頂きありがとうございます。



碧眼のお魚のカトラリーはノーベル賞晩餐会と同じもの



旅のしおりは 8 ページ構成

### 公開講演「ゆかりの地・新潟でドナルド・キーン先生を想う」

講師:元 BSN 新潟放送プロデューサー 南加乃子さん ブルボン吉田記念財団評議員

新潟支部 高橋令子

新潟県柏崎市に、日本文学を世界に紹介したドナルド・キーンさんのセンターがあります。その経緯や、キーンさんの業績、メッセージ等について、ドキュメンタリー番組を制作したプロデューサーの南加乃子さんに語っていただきました。

キーンさんが日本文学と初めて出会ったのはコロンビア大学在学中の 18 歳の頃、1940 年にニューヨークの書店で見つけたアーサー・ウェーリ訳「源氏物語」。第二次大戦中に海軍の日本語学校を卒業し、戦後英国のケンブリッジ大学に留学。ここで日本文学を学

んだ後 5 回の連続講義を行っています。早稲田大学の鳥越文蔵さんは、日本の古典文学の専門家で、大英図書館に眠っていた蔵書の中から「越後國柏崎 弘知法印御伝記」を発見。帰国してそれに関する本を出版しました。「それを舞台で復活上演させたい。」と提案したのはキーンさんでした。その古浄瑠璃本は、江戸初期 1685 年鱗形屋(大河ドラマ「べらぼう」に出てくる)が版元でした。新潟県長岡市寺泊地区にある西生寺の日本最古の即身仏をもとにして物語を作り浄瑠璃にしたものでした。

2007 年の中越沖地震で被害を受けた人々を元気づけようと 2009 年に柏崎で初演され、キーンさんの熱意で 2017 年には大英図書館で里帰り公演をしました。舞台の立役者は西橋健さんとキーン誠己さん。西橋健(西橋八郎兵衛)さんは、鳥越さんの早稲田大学での教え子であり元文楽の形遣いで、佐渡の猿八地区に住み、古浄瑠璃の上演活動をしています。鳥越文蔵文庫もこの地区にあります。新潟市西蒲区出身のキーン誠己さんは元文楽の三味線弾きで養子となり、2019 年にキーンさんの最後を看取りました。

2013 年東日本大震災をきっかけに日本国籍を取得したキーンさんは、ニューヨークの住まいを閉鎖することになり、その書籍と書斎を柏崎のブルボン吉田記念財団が引き受けることになったのです。南さんは、キーンさんの 2017 年のイギリス行に同行して「Donald・キーン 95 歳心の旅」を制作しましたが、その取材のこぼれ話を生き生きと話され、一般参加者を含めて 100 名余りの聴衆は興味深く耳を傾けました。

最後にキーンさんの言葉が紹介されました。「日本の古典の授業は、面白さよりも難しさの方が勝っている。これでは、日本の古典を読むのは外国人ばかりになりますよ。」大きな課題を頂いた思いです。日本国籍を取得したキーンさんの生き方にも触発されました。ご参加の皆様から、柏崎のキーンセンター、佐渡の鳥越文庫にも行ってみたい、とのご感想をいただきました。また新潟にお越しください。

講演する南加乃子さん



キーン博士



講演会のチラシ



早稲田大学の鳥越文蔵さんと



講演会「ゆかりの地・新潟で Donald・キーン先生を想う」に参加して  
(終了後の参加者アンケートより。ご回答の皆様ありがとうございました。)

- ◆大変興味深い内容の公開講演会であり、参加者が会員以外に多数あったことにも、新潟支部の皆さまの熱意が感じられました。Donald・キーンについての知らない部分が次々と明らかになり、南講師の話に引き込まれました。PC を使い、時には実際の映像を使ったことで、内容をより良く理解出来たと思います。Donald・キーンの日本に対する知識、愛情は、今まで理解していたより遥かに大きいものでした。以前に Donald・キーンの「奥の細道」の英語と日本語の対訳を買って、手元に置いて愛用していました。晩年の書斎や蔵書が柏崎の記念館にあるとのことで、是非訪れたいと思いますが、これからもその存在をアピールしていただきたいと思いました。
- ◆Donald・キーン氏の著作は読んだことはなく人物についても漠然としていたので、著作「果てしなく美しい日本」に少し目を通して参加しました。日本という国を外国人という視点ではなく、鋭い視点で本質が見える方だったのかなと感じました。同行取材の数々の人間味あるエピソードはとても興味深く拝聴しました。
- ◆「Donald・キーン 95 歳心の旅」素晴らしい番組をプロデュースされたんですね。とつとつとした語り口に、貴重な動画を沢山見せていただいて、とても素晴らしいご講演でした。キーンさんの詳しい年表もありがとうございました。「日本文学は難解さでなく面白さを教えてくれた」のキーンさんの言葉が印象に残りました。
- ◆日本人以上に日本文学を愛するキーン博士の情熱に驚きました。日本文学を読むのは最終的に外国人ばかりになると言われた言葉がなんとなくわかるような気がしました。講師の南氏のお話はとても分かりやすく聞きやすいご講演で、新潟支部の皆様素晴らしい企画だったと思います。
- ◆キーンさんが何より人との関わりを大切にされていたこと、そして、探究心と好奇心を晩年まで持ち続けておられたことに感銘を受けました。
- ◆キーン氏が亡くなった後の伝え方を考えているとお話しされた南さんの最後の言葉が心に残っています。講演を聞くことが出来てよかったです。

## 感想「全国総会を終えて」

新潟支部会員より

○ 令和 7 年 5 月 19 日、17 日午後の支部長会から始まった新潟での全国総会開催が無事終了しました。前回 2009 年開催から実に 16 年振り。女子の進学率、研究者数も増加する中、「女性の～」という文言を使うこと自体感覚が時代錯誤ではないかといわれる時代に、それでも女性が活躍しながらも役員や長を務める割合が伸び悩み現実もまだまだ認識されています。そんな中、組織の心あるお仲間も当然のように年を重ね、忙しい活躍するユースの女性が組織に入会下り受け継いでくださることは望み薄の現状の中、前支部長、今回の立役者である実行委員長大淵智絵さんの発声から実務に至るまでよくぞやり遂げてくださったと、何度も申すように感謝と感服に堪えません。今回、奨学金の被授与者であり、すでに新潟大学でも活躍の若手が懇親会にもご参加下り、今後の在り方を示唆くださったようで、お声掛けくださった賛助会員であり奨学生の後押しの手も惜しまれない佐藤拓一先生のご功績も見逃せないと思っております。

自身としては本部報告書も作成くださった田代会員とともに 3 日目の研修旅行を今回も担当いたしましたわけですが、何より女性の高等教育と支援が社会を良くするという会の趣旨から、もろもろの方にお世話になりながら、また直後の文部科学省により、学生支援のあり方についてその功績が受賞された三条市立大学を見学させていただき、学長のお話を頂けたことが何よりこの会らしく満足でした。もろもろの施設のご助言、ご配慮の元、ご参加の皆様にも総会、懇親会同様お喜びいただけたお言葉が、何よりのご褒美であると、一緒にできた幸せを感じております。

今後はなかなか地方でのこうした開催も高齢化問題も相まって難しくなり、東京開催に出向いて参って懇親や地元での意欲を持ち帰ることも多くなることが予測される中、まずは新潟としての役割を果たせたこと、今後の在り方の参考になれたことを自褒しても良いと思えました。大変お世話になり感謝申します。今回もご配慮下さった五十嵐支部長の元、今後も引き続き微力、出来ることを一緒にさせていただきます。(鈴木裕美)

○ 2009 年の新潟での全国総会に出席したものの、具体的にどんな役割をしたのか全く記憶がありませんでした。仕事が忙しかった頃でしたが、いかに他の会員の皆様がしっかり準備され、私はずうずうしく支部会員の顔をして参加したのではないかと、今回の準備にかかわる中、今更ながら恥ずかしく思い出し、今回は少しでもお役に立てればと思っておりました。そうは思っても、これまでの他支部担当の全国総会には一度も参加したことはなかったので様子が分からず、役員の皆様の話聞くばかりでした。4 月の支部総会で支部長に選任されてから、私は何をしたらよいのかと考える間もなく全国総会の当日を迎えました。5 月 17 日、午前中から配付書類などの準備が始まり、午後からは初めて参加した支部長会でした。会員数の減少、高齢化が課題であるという現状認識は共通でしたが、そのような厳しい環境の中でも、理事・役員の皆様は、これまでのやり方に固執せず、新たな方法を積極的に受け入れて進めるといった柔軟で前向きな姿勢でした。私自身もそんな風でできたらと思っているのですが、ついていけるかどうか。でも、努力したいと思えました。(五十嵐由利子)

○ 全国総会は大成功だったと思います。大淵実行委員長のリーダーシップに役員一同が心を合わせ、それぞれの力を出し合って目標を達成することが出来ました。丸テーブルでの昼のお弁当、新潟ゆかりの講演会、アトラクション、エクスカージョン、笹団子とぬれおかき等々すべて喜んでいただけたと思います。反省点は、チラシがどんどん増えて、そのたびに手提げに入れ、書類を痛めてしまったことです。チラシは各人の着席する長テーブルに置けばよかったのではないかと思います。(井上里恵子)

○ 新潟での全国総会が滞りなく成功できたことは、大淵実行委員長の新潟で全国総会を開催したいという強い熱意ときめ細やかな段取りと準備の賜物と思います。新しい試みと計画に支部会員全員が賛同し、その協力も素晴らしかったと思います。新潟の美味しい物やお土産も教えて頂きました。県央の世界への発信力にも驚きました。新潟の文化や伝統工芸に触れてみて、そのすばらしさを体験することもできました。新潟を知る良い機会となりました。

又、全ての行事がスムーズに進行できたことは、旅行代理店 MAC の山本さんのご協力のおかげだと思います。大淵実行委員長、皆様本当にお疲れ様でした。(田代信子)

○ 16 年ぶりの新潟での全国総会とのことで、何とか実りある会にしたいと思えました。企画の段階から、新潟らしさにこだわり、新潟にゆかりのあるドナルド・キーンさんに関する講演会、佐渡金山の世界遺産登録を記念した佐渡の民謡のアトラクションなどを企画し実現することができました。柏崎の古浄瑠璃とキーンさんに関する話や佐渡の民謡を通じて、新潟の歴史に根差した文化の一旦を感じていただけたのではないかと思います。県外の皆さんに地元の良さをご紹介する会でしたが、私自身も知らない事が多く大変勉強になりました。地元新潟を知る又とない機会だったと思います。懇親会で佐渡おけさの踊りの指導があり、皆さんと踊る機会がありましたが、それで一機に気持ちがほぐれて良い懇親の場になった、との感想をご参加の方からいただきました。

懇親会の後で、会場の近くのシネウインドの見学を有志で実施したのですが、映画ファンの会員の皆さんが小学生のように楽しそうに見学していたのが印象的でした。「近くにこんな所があればいいわね。」との感想も耳にしました。翌朝は早起きして研修旅行なのにホテルに帰ったのは9時半でした。

新しい試みとして、懇親会を2日目にしたこと、旅行社の協力を利用したことがあげられます。特に旅行社MACさんの協力により、スタッフの手間が相当分散されたと思いますし安心感もありました。MACの山本さんは、先輩女性達に気配りもありとても頼りになりました。ありがとうございました。

今回の新潟総会は、金・銀・銅という三大金属と関わりがありました。佐渡の金山、シルバーホテル、燕の銅器です。改めて、新潟の地は金属が豊富で豊かな土地柄だったということに気づきました(銀はシャレ)。

無事に3日間を終了することができたのは、スタッフが心一つにしてそれぞれの役割を果たしたことにあつたと思います。大きな行事をやり遂げた達成感で一杯です。実行委員長さんをはじめとして皆さんに感謝いたします。(高橋令子)

○ 2009年全国総会から16年、会員22名となった新潟支部で開催できるのかと不安でしたが、大淵実行委員長のアクティブかつ配慮ある人材登用、会員各々の組織力によって無事に終わる事ができ感謝しております。懇親会は美味しく楽しく、その後が続くシネウインド見学も、東京支部映画クラブの方々、岡山支部の方々などたくさんの方々の参加、カンヌ映画祭で使用しているのと同じ座席に座り、井上支配人の軽妙なお話をお聞きし、めったに見られない映写室まで拝見いたしました。近年はパソコンで自動的に映写する事が多いそうですが、古い映画で使用する昔ながらの映写機も見ることができました。(吉谷美知子)

○ 無事に全国総会を終えることができ、安堵しております。全体計画を立てるにあたり、実行委員会では多くの課題を解決すべく、話し合い・検討・現地調査を重ねました。全国からお集まりくださる会員の方々に喜んでいただける全国総会にしたいとの思いが、新潟支部会員一人一人の熱意となり準備活動を支えました。様々な提案が丁寧に検討され、細やかな心配りを示すアイデアとして計画に取り入れられました。

私も、担当する仕事に間違いが生じないようにと気を付けつつ、期間中に私の古いパソコンが壊れませんようにと祈りつつ、毎日の作業に当たっておりましたので、何とか無事に終えることができ今はほっとしております。旅行代理店MAC山本政己様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

南加乃子さんを講師にお迎えして開催した公開講演会「ゆかりの地・新潟でドナルド・キーン先生を想う」をお聞きして、源氏物語を少しずつでも読んでみたいという気持ちになりました。ドナルド・キーンさんが日本文学を世界に広めるきっかけとなったのが、1940年に読んだArthur Waley 翻訳(英訳)のThe Tale of Genji だそうです。夢中になって読まれたそうです。興味をそそられて、早速図書館から借りて少し読み始めました。

ご参加くださった全国の会員の皆様からは嬉しいご感想をお寄せいただいていると伺っています。実行委員長を中心に新潟支部会員が心一つにして準備したことを評価していただいたのだと思います。私も微力ながらお手伝いできたことを嬉しく思っております。ありがとうございました。(仲川幸子)

## 新潟開催 準備のうらばなし



実行委員長 大淵智絵

### ■力と思いを集めて

この全国総会は、支部会員それぞれができることで協力し、全員が関わったことが私にとっての一番の成功で、満足していることです。計画の初めは準備の私たちも遠方からの参加者にも負担が大きくなりすぎない事ばかりを考えておきながら、嬉しいことに徐々に会員の声が集まるなどして少しずつ行事が増え、今回のプログラムを作りました。そしてその中で外部のご協力も増えていきました。全国総会の準備運営は、これまでの活動で培ったノウハウ、各所での活躍を経て築いた人脈、暮らしの中で集めた地域の情報、すべての会員が持つ豊かな経験の集まりが成功につながりました。五十嵐由利子さんが支部長をひきうけてくださり、新潟支部の顔として前面に立って下さったのも大きな要因です。2009年の前回新潟開催では支部の一大事と多くの会員が協力したことを良く覚えていました。またその当時は支部の収益活動も多く、チャリティーや寄付などで活動資金を活発に集めておりましたので、その使い道を先輩にお尋ねすると「今後の全国総会」もその一つに挙がり、忘れられずにおりました。先輩方が後進にご用意くださった財産と活動への思いを継承し、今回ひとつ実現できたことに安堵しています(なお、全国総会運営に自己資金は不使用でした)。

全国の会員のみなさんが興味を持ち申し込みにつながればと、新潟の観光情報をウェブ上で発信しようと試みました。支部会員によるおすすめ情報を掲載した会報No.14をJAUWサイトにアップ(本部ウェブサイト委員の日頃のご尽力あってこそ)。単なる情報提供ではなく、会員交流のツールに活用できればという思いで編集いたしました。支部会員全員に依頼した情報収集のアンケートには、

東京在住の小海憲子さんはじめ外出が難しい会員からもはがきやお手紙での回答が届き、全員参加のおもてなしが実現しました。会報では歓迎の気持ちをお伝えしたく、新潟の観光に携わる方々にもご登場願いました。そのおひとりシネ・ウインドの井上支配人からは、「では映写室をご案内しましょう」と即座にお申し出いただき、とても嬉しかったことを憶えています。挑戦には助けが現れることを実感し、また、この行事を通じてより多くの新潟の方々に当会を知っていただく機会になるのではという期待も抱きました。

#### ■研修バス旅行

旅のプランを考えるのは楽しい作業ですが、時間や休憩取得をはじめ様々な制約もあります。今回の行き先は一目で分かる景勝地ではありませんが、体験と詳しい解説を付属することでその意義はきっと伝わるはずと 8 ページにわたるパンフレットを作成しました。開催のちょうど一年前に最初の下見を行い、その後見学先には特段のご配慮とご協力をいただき、個人旅行でも既存のツアー旅行でも叶わないプランが出来上がりました。本当は日本海を眺めながら見学先に向かうルートを取りたかったのですが、時間が足りず叶わなかったことは心残りです。当日の旅程ではお伝えきれないところもありましたのでここに掲載します。

🌾 田んぼの風景で見られた「はぎ木」は新潟平野独特のものだそうです。もともと澁で水分の多い土地は田んぼに稲わらを積むと湿ったり稲木が沈んでしまう、よって農道に木を育て高い場所に稲わら干しをしたとか。また、きんぴらだんごは珍しいだけではなく、くず米を無駄にしない知恵。甘いあんこは贅沢品といった理由もあるそうです。加えて「こびる(小昼?)」などと呼ばれた、農作業の途中でエネルギーチャージをする軽い食事でもあったようです。そういえばしゃきしゃきのきんぴらは塩分補給にも良さそうです。

🏢 三条市立大学の校舎はデザイン性だけでなくアイデアに溢れています。廊下には「尺寸」など様々な単位が目盛が模様のように描かれていますが、これは長さの感覚を体得するためのものだそうです。そしてお部屋の用途によって座る時間が違いますが、それごとに別のデザインの椅子が設置され、私たちが着座した大講堂の椅子は 90 分用とのことでした。実習を重視したカリキュラムとあわせ、大学は「全身で学ぶ」ための場所であると改めて感じました。案内板は地元の鋳物製、地場産業のルーツ和釘型の校舎の傾斜は積雪対策にも、と、地域と根差したものづくりの学び舎にふさわしい建造物でした。

#### ■懇親会

懇親会のお料理は大学女性協会スペシャル。地元の食材で、美味しく美しいお料理を、といったリクエストを担当会員の井上里恵子さんが上手にホテルに伝えてくださいました。アトラクション・佐渡の民謡踊り・こはく会さんへの依頼は高橋令子さんが担当。高橋さんはこはく会さんの練習にも出向いて、唄や踊りにも参加、まさに体当たりで交渉してくださいました。当日は全員参加の佐渡おけさ。難しい佐渡おけさを司会の西村智奈美さんが上手に踊りこなしていて歓声を浴びました。多忙な中参加の支部会員お一人お一人があたたかな接遇でもおおいに力を発揮してくださいました。吉谷美知子さん、田代信子さん、阿部美知子さんは受付担当で笑顔で皆さんをお迎え、三上杏里さんはマイク係で会場を元気に駆け回りました。新潟支部のみなさま、たいへんお疲れさまでした。

#### ■さまざまなかたちでの協力・参加

実行委員会のメンバーについて先に掲載しましたが、支部の会員には他にも様々なかたちで協力や参加をいただきました。イメージピクチャー「想～大地」をご提供くださった北村美江さん。「想～大地」は記念品、封筒、パンフレットに活用し大会を彩りました。記念品はエコな【紙製のクリアホルダー】。中の書類が見えやすいよう文字色は薄めに。記念品なのに銘が目立たなく廃棄が簡単な品になりましたが、イメージピクチャーのおかげで素敵な出来栄で気に入っています。おすすめに挙がった笹団子、その中でも「皇后陛下がお求め」と小野美知子さんがご紹介くださった「よし仙」さんのものは、いままで食べた笹団子と違う！と県外のかたにも大好評でした。宮本真菜さんは遠方でパンフレット作成。打越さく良さんはお仕事途中で、涌井杏奈さんと賛助会員の佐藤拓一さんは朱鷺メッセで学会開催期間中に懇親会にかけつけました。元支部長の宮山彌生さん、長谷川道子さんは度々相談に乗ってくださいました。

#### ■伴走者 代理店 MAC 山本政己さん

1 年半にも渡りお付き合いくださった山本さん。誠実で親切なお人柄で終始私たちに寄り添い助けてくれました。全国からの申し込み受付は支部会計担当の登坂美江子さん、仲川幸子さんも連携され、混乱なく、三人で見事に乗り切ってくださいました。大会初日には段ボールを抱えて機材を運び込み事務局を整えてくださったのも本当に助かりました。

2 月終りのことです、全国総会会期中のホテルの空室が突然高騰し予約が取りにくくなりました。人気グループのコンサートが開催されることが分かったのです。全員の宿泊を手配できるか心配で落ち着いて眠れない日が続きましたが、その時はプロの手腕が本当に頼りになりました。おかげさまで事なきを得て無事に思い出話に。依頼者(私)も手探りで、始めはぼんやりとした依頼内容の仕事をよくぞ引き受けてくださいました。最後まで信頼できるパートナーに携わっていただけて本当に幸運でした。

新潟支部のみなさん、全国総会新潟開催にご参加ご協力ありがとうございました。おつかれさまでした！

## 2025 年度新潟支部総会報告

日時: 2025 年 4 月 26 日(土)14:00~16:00 会場:クロスパルにいがた

◆議案◆ 議案はすべて承認されました。

- I ①2024 年度事業報告 ②2024 年度収支決算報告 ③監査報告
- II ①役員
- III ①2025 年度事業計画 ②2025 年度収支予算



◆運営体制◆ 2025~2026 年度

### <役員>

支部長 五十嵐由利子  
 副支部長 大淵智絵 (書記・会報担当)  
 鈴木裕美 (支部奨学賞担当)  
 会計 登坂美江子 仲川幸子  
 書記 吉谷美知子 (1 名欠員)

### <監事>

阿部美知子 田代信子

### <部会>

男女共同参画部  
 部会長 高橋令子  
 副部会長 小野美知子

国際交流部  
 部会長 鈴木裕美  
 副部会長 吉谷美知子

社会学習部  
 部会長 大淵智絵  
 副部会長 登坂美江子

親睦部  
 部会長 井上里恵子  
 副部会長 田代信子

◆交流団体などにおける当会推薦の役員◆

新潟県立大学後援会 顧問 五十嵐由利子  
 (公財)新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子

## 支部の動き(主なもの)

### 【3月】

- 3/5 第7回役員会・運営会議 (Zoom)
- 3/10 新潟県奨学金ガイド原稿提出
- 3/11 会計監査
- 3/15 全国総会申し込み受付開始
- 3/15 JAUW サイト支部ページ、支部サイトの更新
- 3/25 新潟県女性財団評議員会/五十嵐
- 3/26 第8回役員会・運営会議 (ニコット)
- 3/26 会員・関係各所へ郵便発送

### 【4月】

- 4/8 全国総会受付集計作業
- 4/9 全国総会会場打合せ
- 4/14 支部総会資料印刷
- 4/17 新現支部長打合せ
- 4/26 新潟支部総会

### 【5月】

- 5/1 全国総会代理店との打ち合わせ (Zoom)
- 5/9 全国総会実行委員会最終打合せ (Zoom)
- 5/15 全国総会文書印刷
- 5/17~5/19 全国総会運営、支部会員参加申し込み 17 名
- 5/27 新潟県立大学後援会総会 顧問として出席/五十嵐

### 【6月】

- 6/4 第1回支部役員会、運営会議 (新潟グランドホテル ベルビュー)
- 6/8 大学女性協会守田科学奨学賞授与式に支部長出席/五十嵐
- 6/10 JAUW 国内奨学生募集案内を県内 10 大学にメール依頼/五十嵐
- 6/11 公益財団法人新潟県女性財団評議員会に出席/五十嵐
- 6/26 全国総会決算報告を本部へ報告

### 【7月】

- 7/4 第2回役員会・運営会議 (ニコット)
- 7/15 新潟支部奨学賞応募要項の公開
- 7/16 新潟支部奨学賞応募案内を県内 14 大学にメール依頼/鈴木
- 7/30 7月例会 社会学習部学習会「気候変動とコメ」

#### 7月例会 社会学習部学習会

「気候変動とコメ」~全国セミナー発表に向けて~  
 7月30日(水)13:30~15:30 クロスパルにいがた  
 講師 新潟県農業総合研究所 所長 黒田智久 様  
 新潟県農地部農地建設課 石川契雄 様

今年10月の本部全国セミナーは「ウェルビーイングと環境〜くらしの視点から〜」。昨年のシンポジウム「ウェルビーイングと環境」での報告をもとに、より身近なテーマで各支部等が調査発表を行うことになりました。新潟支部は「気候変動とコメ」のテーマを担当します。コメの問題は価格の高騰で今おおいに注目されています。学習会では稲作の現状と未来、水田の環境保全についてお話を伺い、発表に向けて新潟支部の視点を探ります。

## お知らせ

### 【本部より】

- 第 27 回守田科学研究奨励賞の授賞式を 2025 年 6 月 8 日(日)にアルカディア市ヶ谷を会場に開催いたしました。受賞者に新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学系列・同大学創生学部 助教 小山 翔子さんが選ばれ、五十嵐支部長がお祝いに駆け付けました。テーマは「国際ミリ波観測網で切り拓く巨大ブラックホール撮影の本質的貢献」。おめでとうございます。
- EXPO2025「平和と人権」ウィークにて、JAUW と GWI による対話プログラム「政治における女性たち」  
日時 8 月 7 日(木) 13:00 より 会場 大阪関西万博 EXPO2025 スイスパビリオン
- 2025 年度(一社)大学女性協会全国セミナー テーマ「ウェルビーイングと環境～くらしの視点から～」  
会場 エッサム神田ホール 1 号館 Zoom 参加も可能 参加費 1,000 円 学生無料  
▷10 月 18 日(土)13:00～17:00 基調講演、支部などによる課題報告、ディスカッション、懇親会  
基調講演「気候変動訴訟と将来世代法～未永くみんなの幸せを守るには?～(仮)」  
▷10 月 19 日(日) 9:30～12:00 特別講演、課題報告、ディスカッション  
特別講演「エコフェミニズム～環境をジェンダー視点から考える～(仮)」



### 【新潟支部より】

- 第 76 回新潟支部奨学賞授与式  
2025 年 11 月 29 日(土)11:00 より開催 会場 ホテルサンルート新潟  
授与式の後には受賞者を招いて昼食会も行います。みんなで祝いましょう。ぜひご参加ください。
- 2025 年度支部奨学賞の募集について  
新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生を対象に、新潟支部奨学賞を贈呈します。今年度の応募小論文テーマは「ジェンダー平等社会実現のためにすべきこと」です。  
現代の日本社会では、女性の活躍への期待が高まっています。しかし、女性の社会進出等を示す国連のジェンダー指数から見る日本の女性の地位はまだ低い状態です。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、女性の弱い立場をクローズアップしました。このような状況の中でジェンダー平等社会実現のためにすべきことを、個人、国の制度、企業や社会のありかた等の中から、自身の実感や経験を踏まえて述べていただきます。  
応募受付期間は 8 月 20 日～9 月 25 日、第 76 回支部奨学賞授与式は 2025 年 11 月 29 日(土)。実施の詳細、応募書類のダウンロードは大学女性協会新潟支部ウェブサイト <http://jauwniigata.blog.fc2.com/> から。

- 「支部奨学賞」応募要項送付校(順不同)  
新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟国際情報大学、新潟産業大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、敬和学園大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、三条市立大学
- 本部「国内奨学賞」応募要項送付校(順不同)  
新潟大学、新潟県立大学、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学、新潟薬科大学、上越教育大学、長岡造形大学、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学

#### 編集後記

今号からフォントの書体が変わったことにお気づきでしょうか。「UD 明朝」を選びましたが、「UD」とは「ユニバーサルデザイン」のことです。

5 月の全国総会でパンフレットの作成に携わった支部会員の宮本真菜さんは、どなたにも見やすいフォントをと「UD デジタル」を選んでくださいました。

そのアイデアを見做って会報もちいさなリニューアルです。

大淵

会報担当(五十音順)

大淵、三上、吉谷

新潟支部会報 No.15

(一社)大学女性協会新潟支部

支部長 五十嵐由利子

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

発行日 2025 年 8 月 15 日

○新潟支部ウェブサイト



支部発信の情報